

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		☐ 基本的にマンツーマンセッションであり、一人一人のお子さんに応じてスペースを調整しながら活動しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	4		☐ マンツーマンではありますが、必要に応じてサポートに入っており、いろいろな活動を楽しめるようにしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4		☐ お子さんに応じてスケジュールなどの提示方法を工夫したり、刺激になりそうなものはのけるなど構造化や環境の整備をしています。 ☐ 施設はバリアフリー化しており、段差もないため、運動機能の未熟な小さなお子さんでも危険が少ないようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4		☐ 毎朝の清掃だけでなく、活動後にも消毒・清掃をしています。 ☐ 安全に活動できるように、危ないものがないように準備時に確認、配慮しています。 ☐ お子さんの様子や活動に合わせて、体育館と遊戯室を使い分けています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4		☐ 定期的に話し合いの時間を設け、チーム全体で振り返りや支援内容等について話し合いをしています。 ☐ 今年度は法人内全事業所でそれぞれの『MVV』を作成し、サービスの向上に努めています。 ☐ 月に一度は法人内事業所で全体ミーティングを行い、情報共有などを行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		☐ 評価表だけでなく、常日頃から保護者の方からご要望があれば、職員で共有し改善するようにしています。 ☐ ミニプロは保護者の方に送迎をお願いしており、来所時に意向など随時話をしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		☐ ホームページで公開しています。 ☐ 自己評価と保護者評価のずれや、頂いたご意見についてチーム内で話し合い、改善するようにしています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	☐ 第三者による評価委員会の設置まではしていないが、相談員の方や外部の方の見学の際に意見やアドバイスをいただいています。。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		☐ 発達障害者等支援スキルアップ研修や他の研修にZOOMなども利用しながら参加しています。 ☐ 動作法や障害者スポーツ指導員研修など身体や運動面の研修などにも参加しています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		☐ 利用開始時には、感覚統合検査やESSENCE-Qなども用いて情報を頂いた上で計画を作成しています。 ☐ チーム内でモニタリングを行い、計画の作成をしています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		☐ 利用開始時には、感覚統合検査やESSENCE-Qなども使用。運動面については都度改善しながらアセスメントを行っています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4		☐ 体を動かす遊びを楽しむことで、身体を育て、脳の発達を促し、日常生活が楽になるように、楽しく過ごせるようになることを一番のねらいとし、内容を工夫しています。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4		☐ 児童発達支援計画に沿って支援内容を工夫し、チームで振り返りをしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		☐ マンツーマンセッションではあるが、担当を固定せずに皆で相談しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		☐ 子どもたちの「好き・楽しい・やりたい」だけでなく、保護者の希望や運動会の種目なども取り入れて生活の中に活かせるようにしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	2	2	☐ マンツーマンセッションのため集団活動は取り入れていません。 ☐ 年長児などで二人を同じ場所で行い、関わりを持てるようにすることもあります。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		☐ マンツーマンではあるが、担当の固定はしておらず、前回の様子など共有・相談しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		☐ 当日には難しいこともあるが振り返りをして共有しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		☐ 記録とともに『活動のねらい』を作成してお渡しし、保護者の方とも共有しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4		☐ 少なくとも半年に一度はモニタリングと児童発達支援計画の見直しをしています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		☐ 児童発達支援管理責任者だけでなく、お子さんとの信頼関係や状況に精通した職員が参画するようにしています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	1	☐ 相談員の方を通じて、が多いですが、必要に応じて連携しています。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			☐ 現在は該当者がいませんが、必要に応じて連携をしていきます。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			☐ 現在は該当者がいませんが、必要に応じて連携をしていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		☐ 担当者会や引継ぎ会に参加して情報共有をしています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		☐ 担当者会や引継ぎ会に参加して情報共有をしています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	☐ 他事業所と定期的に支援会を設けるなど情報交換をしています。 ☐ 必要に応じて相談し、助言を受けています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	☐ イベント時に交流の機会を設けています。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		4	☐ 参加できていません。

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		☐ 活動時や前後に家や保育園等の様子を伺ったり、活動のねらいなどについてお話しています。また活動のねらいと様子を紙面で次回にお渡ししています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	3	1	☐ ペアトレ講習会としては今年度行えていませんが、ペアトレ指導者養成セミナーを2名受講しており、必要に応じて対応しています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		☐ 契約時にお伝えするようにしています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4		☐ 契約時に保護者の方とお話をしながら計画を作成しています。その後もアセスメントを元に保護者の方と話し合いながら作成、説明、確認をしています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		☐ 来所時にお話を伺い、アドバイスなど行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4		☐ 交流イベント『ハピプロ・ママプロ』やその他イベント時での交流や、今年度は延期になったが、『ミニプロ同窓会』も企画しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		☐ Uプロ内でできることだけでなく、必要なところにつなげていくなど適切な支援を心がけています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		☐ 広報誌『なないろ』の発行と、ホームページにてブログなどで情報の発信をしています。また、イベント案内なチラシにて随時行っています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4		☐ 個人情報の取扱いについては、チーム内でお互いにチェックしあうなど注意しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		☐ それぞれのお子さんや保護者の方に合わせて、わかりやすく伝えるようにしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	☐ 法人としていろいろなイベントを企画し、広く参加者を募集したりしています。また貸館も行っており、来所された地域の方に作品展など見ていただく機会も設けています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4		☐ Uプロジェクト受付にて各マニュアルを閲覧できるようにしています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		☐ マンツーマンセッションでもあるため、訓練はスタッフのみで行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4		☐ 契約時に確認をしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		☐ おやつを提供など飲食を伴うことはないが、契約時にはアレルギーの有無についても確認しており、保護者を通じて必要な対応がとれるようにしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		☐ 小さなことでも見過ごさずにチームで共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		☐ 研修への参加と、参加できなかった職員には後日内容を周知するようにしています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	1	☐ 職員間で話しているが、支援計画への記載まで必要と思われるお子さんがおらず、記載はしておりません。